

カリヤJ

刈谷市総合文化センター
Vol.3 / 2010 秋

編集後記。

「芸術の秋」にちなんで、今回のカリヤノはクラシックの特集です。
 “カリヤノ的クラシックのススメ”と題して、新しい切り口からクラシックの世界へとご案内しました。クラシック初心者の方(む)(す)(た)もクラシックの世界へ!
 これまで「クラシックは敷居が高そう・・・」と思っていた方にも、「面白そうだな♪」と興味を持っていただけたら嬉しいです。
 センターでは、秋～冬もクラシックをはじめ、さまざまなイベントを開催します。刈谷市総合文化センターで、あなたの秋の計画を立ててみてはいかがでしょうか?

事業担当 (む)・(す)・(た)

今号の表紙



ホールは一期一会の空間。
さて、今日はここでどんな音楽が鳴り響くのでしょうか。

ラ・ペンシッド・グランディ
La pensee de grandi

当店は、フレンチを気軽に食べて頂くため、全てのお客様にお着のご用意をしています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

Morning Time

モーニングタイム
(9:00~11:00)

モーニングセット など



Lunch Time

ランチタイム
(11:30~14:00)

※ランチ予約は11:30~12:00スタートの場合に限ります。



Cafe Time

カフェタイム
(14:30~17:00)

・シェフおすすめデザート
・こだわりのコーヒー
・フレーバー紅茶など・・・



Dinner Time

ディナータイム (17:00~22:00)

・本格フレンチコース料理
・シェフおすすめのワインによくあう一品料理



※ディナーコースに限りラストオーダー21:00
ドリンク・軽なおつまみは21:30ラストオーダーになります

その他、各種パーティー・食切イベント特別コースなど、お客様のご予算に応じてご用意いたしますので、お気軽にお問い合わせください。



〈お問い合わせ〉
レストラン

La pensee de grandi

ラ・ペンシッド・グランディ



0566-63-5656

刈谷市総合文化センター アイリス

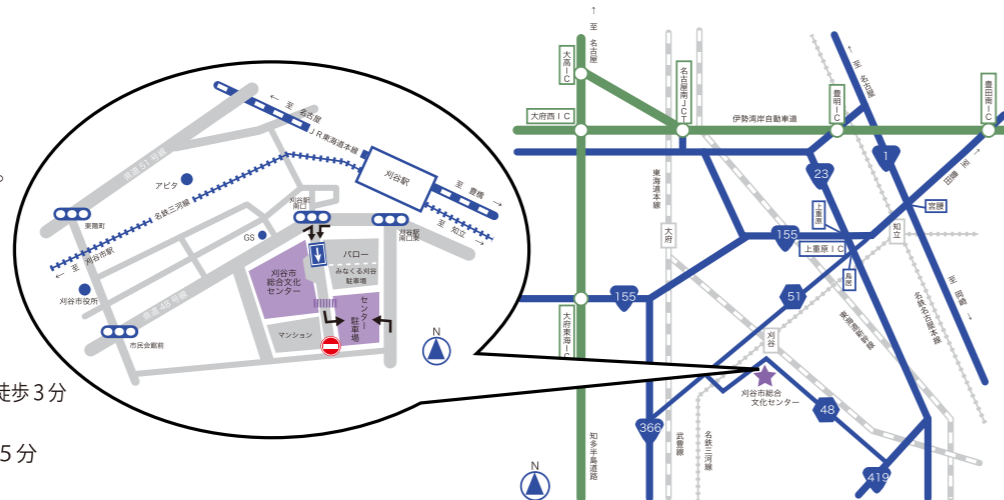
〒448-0858
愛知県刈谷市若松町2-104

休館日：毎月第1月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日~1月3日)
※施設・設備の保守点検等で臨時休館する場合があります。

TEL/0566-21-7430 FAX/0566-21-7440
E-mail/info@kariya.hall-info.jp
ホームページ/http://www.kariya.hall-info.jp

<交通のご案内>

- 鉄道
JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅南口からウイングデッキ直結徒歩3分
- 車
伊勢湾岸自動車道豊明ICより約20分・豊田南ICより約25分
- お車でお越しの方
※駐車台数に限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。



みなさんはクラシックについてどのようなイメージをお持ちでしょうか。

ポジティブなイメージとしては、例えば「きれい」「癒される」「聴けば感動する」といったものが挙げられるでしょうし、逆にネガティブな場合は「よく分からない」「長い」「聴くと眠くなる」といったものが出てくるでしょう。

受け止め方は人それぞれで全く構わないと思いますが、しかし、少なくとも知らないまま素通りしていくには惜しい音楽作品もたくさんあります。そこで、今回の特集は「カリヤノ的クラシックのススメ」と題して、少し違った角度からのガイドを試みてみたいと思います。

no.1 ベートーヴェンの肖像

小学生や中学生のころ、多くの方は校内の音楽室でベートーヴェンの肖像画(①)をご覧になった経験があるはず。髪はボサボサで、眼差しは鋭く、ひどく怖い表情で何か書きかけの五線譜の紙を手を持っている、というアレです。この肖像画から来るベートーヴェンの印象は、まさに「ジャジャジャーン!」。そう、交響曲「運命」を書いたその人のイメージそのものでしょう。でも、この①の肖像画は1820年、彼が50歳の年に描かれており、「運命」を完成してから10年以上も後のものなのです。

では②の肖像画を見てください。これもベートーヴェンで、1804年に描かれたものです。実はこちらの方が「運命」を手がけていた頃の肖像画なのです。30歳代半ばの覇気に満ちた表情が印象的です。

それではもう1枚。③です。これもベートーヴェン。1801年頃の肖像画です。画の作者が異なるとはいえ、①と③が同一人物だというのはちょっと意外に思う人も多いのではないのでしょうか。最後にもう1枚。④です。これは1823年のベートーヴェン。こちらは「第九」を書いていた時期にあたります。①よりは落ち着いた感じはあると思います。



さて、この4枚の肖像画、年齢順にすると③→②→①→④となりますが、こう並べてみると、ベートーヴェンという人はいつもいつも難しげな雰囲気ばかりだったわけではなさそうだと、思えなくもないですね。言い換えれば、そんな彼が生み出した音楽作品もまたいつもいつも「運命」のようなものではなかったかもしれない、と考えても不思議ではないはず。

事実、ベートーヴェンが遺した音楽には様々な表情や表現(発展させて捉えるならば世界観や宇宙観)が含まれており、たった一言(ベートーヴェンと言えば「楽聖」とか)あるいはひとつの作品だけで全てを語り尽くすことはとても無理なことです。それは他の作曲家でも同じことです。例えば「神童・モーツァルト」や「音楽の父・バッハ」と言ってみたところで、モーツァルトの作品を聴いてみて「う～ん、あそこが神童っぽいよね」とか、バッハを聴いて「あー、父だねえ」とはならないでしょう。

要はいかに「先入観」を外して音楽そのものと向き合えるかです。

no.2 じゃあクラシックとどう接するの?

「先入観を外して」などと書くとまたまた面倒に思われるかもしれませんが、ですが、そんなに難しく考える必要はありません。歌謡曲や演歌、ロックと同じような距離感でクラシックと接してみたいかがでしょうか、ということなのです。クラシックだって音楽ジャンルのひとつであることには変わらないのですから。

ひとくちにクラシックと言っても、常に大真面目なものばかりではありませんし、ほんの数分で終わってしまうような作品もあります。またハードロックも顔負けぐらいの激しい音楽もあれば、聴いて直ぐに鼻歌が出るぐらいに親しみやすいメロディを持った作品もあります。また、作曲家や作品のことをそんなに知らなくても、楽器や音楽の形式を知らなくても、クラシックを楽しむことは可能です。

重要なのは、数え切れないぐらいに存在する音楽作品の中から、自分にとって付き合っていくやすい音楽と出会うことができるかどうか、です。

音楽もまた「出会い」なのです。

no.3 クラシックとどこで出会う?

「出会い」の場というのは案外身近なところにあるものです。

もちろん、ホールで行われる演奏会に出かけてみるというのは王道中の王道でしょうが、もっと気軽な「出会い」をしたって良いでしょう。最近で言えば、マンガ→ドラマ→映画・アニメとさまざまなスタイルで大ヒットした「のだめカンタービレ」なんていかがでしょう。ドラマや映画では原作よりもだいたい少ない数の作品しか使われてはいませんが、一方で、実際に劇中で音楽が流れることにより視聴者に大きなインパクトを与えたものもあります。ドラマのオープニングで使われたベートーヴェン!の「交響曲第7番イ長調」は、「運命」や「月光」のようなニックネームはありませんが、今や多くの方におなじみになりました。

「のだめ」ほどではないにしても、ドラマや映画、あるいはCMでクラシックが使われる機会は今でも多いはず。それらを観たその時に作品名は分からなくても、インターネットなどで調べることは容易いでしょう。

もうひとつ最近の例を。昨年の発売以来、あつという間に大ベストセラーになって、社会現象と言えりぐらいの存在になった村上春樹の長編小説「1Q84」にはヤナーチェクの「シンフォニエッタ」が登場します。

no.4 敷居その1:長い!(演奏時間について)

クラシックに接する上で、演奏時間の長さというはある意味で高い敷居であろうと思われる。何せ1曲に30分はおろか、1時間ぐらい平気がかかってしまうような作品はザラですし、オペラ(歌劇)に至っては2時間、3時間は当たり前という世界です。

日常生活の中で、数時間を音楽鑑賞に充てるのはかなりのレヴェルの方でしょう。ですから、これから聴いていってみようかなあ、という方は、いくら名曲だと言われている作品であっても、無理をしてまで長い演奏時間を要する作品を聴く必要はありません。10分から15分程度の演奏時間の作品もたくさんありますから、まずは音楽作品の持つ独特な時の流れに慣れるところから十分だと思います。ひとつふたつ挙げるなら、例え

no.5 敷居その2:今、どこ?(音楽の形式と作品名について)

前の項目とも関連しますが、クラシックを聴いていて困ることのひとつに、今が全曲で言うところのどの辺りなのかが分からない、ということを経験する方も居ます。これは言い換えれば、現在地点が分からないからゴールまでの距離が分からない、だから途方に暮れる、ということと同じことでしょう。これは予め演奏時間を知っていれば、「あと何分」とカウントすることは出来ます。ですが、時計の針の進み具合を横目で睨みながら音楽を聴くという一種の我慢比べをするのは、音楽作品の中にあるドラマを見落としてしまう、あるいはいちばんオイシイところを聴き損ねてしまう可能性があります、それはそれでとても勿体ないことです。

その意味でより有効なのは、ソナタ形式や変奏曲といった形式を何となくでも知っておくことです。もちろん前にも書いたとおり、形式を知らなくてもクラシックを楽しむことは出来ます。ただし、形式とはその音楽の

ヤナーチェクはドヴォルジャークに続く世代のチェコの大作曲家ですが、恐らく日本では音楽の教科書に登場したこともないぐらいでしょう。ですから「1Q84」を読んで、初めてヤナーチェクの名前を知った方は相当数いらっしゃるのではないのでしょうか。もちろん、その上で実際に「シンフォニエッタ」に関心を持たれた方がどの程度か、ということはありませんが、CDを買って聴いてみたら、一風変わった、ひとくせもふたくせもあるその音楽を面白く思われた方もまた少なからずいらっしゃると思います。

クラシックのCDを扱うお店に行ってみると、今は「のだめ」や「1Q84」に関連するCDをまとめたコーナーがあったり、紹介コメントを付したディスプレイが置かれていたりもします。また試聴コーナーが設置されていることもありますから、そういったものも活用するのは大いにアリだと思います。



ヤナーチェク

「レヴェル」の「ボレロ」や「デカスの交響詩」や「魔法使いの弟子」とか。また、オペラの序曲や前奏曲の多くはそれほど長大なものではありませんから、特定の作曲家だけでまとめたり、同じ国の作曲家でまとめた序曲集のCDから入っていくのも良いでしょう。

そして可能であれば、いくつかの楽章に分かれているような曲であっても、出来るだけ全曲を聴き通してください。「さわり」だけを聴くのは、TVの連続ドラマの中のあるひとつの回だけを観るようなものですから。

構成や流れを大体説明してくれている状態でもあるので、形式を知っておくと、音楽の流れやパターンを予め知ることが出来ます。ドライブをするのに、途中どういった所を通って、どこの風景が見どころかを予め知っておけば、実際のドライブも更楽しくなるでしょう?

それから交響曲、協奏曲、弦楽四重奏曲、ピアノ・ソナタのように作品名が小難しい。これもクラシックでは仕方のないことです。タイトルやあだ名が付いていけば何となく親しみを持てるかもしれません。しかし、一方でそのあだ名が作品のイメージから無関係なところから付いていることもあるので、場合によっては作品本体から却って遠ざかってしまうような誤解を招いてしまう恐れもありますので要注意です。

no.6 敷居その3：拍手しなきゃ！ (演奏会マナーについて)

初めて演奏会に行ったとして。
 何だか音楽が盛り上がってきて最後に「ジャン!」。ステージ上の演奏家が動きを止めます。「あ、終わった。拍手しなきゃ」と思って慌てて手を叩き始めます。ところが周りはシーン…。そんな経験はありませんか？
 基本的に、拍手はひとつの曲全部が終わってからするものだ、というのがクラシックの演奏会の「お約束」にはなっています。しかしオペラの上演だと、途中でアリアが終わると盛大に拍手が起こったり「ブラヴォー!」の掛け声が飛ぶこともあります。
 じゃあどうすりゃいいの？
 そもそも拍手は素晴らしい演奏、素晴らしい音楽と感じた場合にすれば良いものですから絶対不可欠なものではありませんし、まして客席の中で「いの一番」に手を叩き始めることには大して意味はありません。なので、静かに余韻を残すような終わり方をする音楽で、「終わった!」と思った瞬間に盛大にバンバン手を叩き始める、というのもどうかと。
 要は客席に居る他のお客さんたちとの「あうんの呼吸」であったり、場の雰囲気について余裕をもって楽しもうとする意志でしょう。

拍手以外に演奏会マナーとして挙げられること、例えば開演時間に遅れて入場する際であったり、演奏中のおしゃべりや客席内での飲食を慎むであったりは、何もクラシックの演奏会に限った話ではありませんね。これらは映画鑑賞や他のジャンルの舞台公演を鑑賞する時でもしばしば普通に求められているものですから、一度慣れてしまえばそんなに難しいことではないと思いますよ。



no.7 敷居その4：演奏の違いって？ (聴かないうちには分からないのだけれど)

例えばドヴォルジャークの交響曲<新世界より>のCDを買ってみようと思ってお店に行ったとします。棚には何種類もの<新世界より>が並んでいます。さあ、どれを選べば良いのか。でも、そもそも同じ曲なのにそんなに演奏って違うの？
 結論から言います。
 違います。
 仮に全く同じ楽譜で演奏したとしても、です。それはちょうどお芝居の時に、同じセリフであっても、俳優によって、顔の表情、喋るスピードや間の取り方、また声の大きさやトーン、更にはその際に付ける身振り手振りも違う、ということに例えればお分かりいただけるのではないのでしょうか。
 さて、そうなるも聴いてみないと分からないじゃないか、と言われるかも知れません。そのとおりです。いくらクラシックを聴き込んでいる人で

あっても難しく思われるのは、有名な演奏家や一流の団体だからとって常に名演ばかりを披露してくれる訳ではありませんし、まだ無名の新進であっても超ド級の演奏をすることだって大いに起こり得ます。
 繰り返し特定の演奏家の音楽に接することで「傾向と対策」を知ることには出来ます。ただしそれが他の演奏家だったらどうか。実はもっと違う魅力を作品から引き出してくれるかも知れません。
 その意味ではきりの無い話になってしまいそうですが、好きな作品や気になる作品が出来たら、まずはその作品のさまざまな演奏にドンドン接してみてください。

no.8 <カリヤノ>的おススメ・クラシック

演奏についての「名演」と同じことで、名曲というものは誰にとっても名曲ではありません。他の人と意見が合わないからといってどちらかが間違えている、なんてことも決してありません。ですから、ここでおすすめするものが肌に合わないとと思われるのであればそれは違う他の音楽に接していただければ良いのですし、面白く聴いたのであればその音楽をきっかけにレパートリーを広げていく、ということ構わないと思います。
 ではおススメを。

ディスク紹介は次のページへ→

side-A (まずはこんなディスクから)

- ♪ モーツァルト／セレナード第13番「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」& 序曲集
ブルーノ・ワルター／コロンビア交響楽団(ソニー・ミュージック-SICC663)
モーツァルトを得意とした往年の大指揮者によるモーツァルト作品集。
- ♪ ラヴェル／ボレロ
アンドレ・クリュイタンス／パリ音楽院管弦楽団(EMIミュージック-TOCE14066)
半世紀近く前の録音ながら、未だに名盤として名高い1枚。
- ♪ ロシア管弦楽名曲集
キリル・コンドラシン／R C A交響楽団(B M Gジャパン-BVCC37627)
スケートの浅田真央が使ったことで一躍有名になったハチャトゥリアンの<仮面舞踏会>も収録。
- ♪ ニューイヤー・コンサート1989
カルロス・クライバー／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(ソニー・ミュージック-SICC1080~81)
「天才」と謳われた名指揮者による伝説の、かつ究極のニューイヤー・コンサート。
- ♪ パッハ／ブランデンブルク協奏曲(全曲)
ラインハルト・ゲーベル／ムジカ・アンティクワ・ケルン(ユニバーサル・ミュージック-UCCG3751)
多種多様な楽器編成によるパッハの協奏曲集を優れた技巧と快速テンポで鮮やかに演奏。
- ♪ ホロヴィッツ／ショパン・アルバム
ウラディミール・ホロヴィッツ(ピアノ)(ソニー・ミュージック-SICC1029)
20世紀最大のヴァルトウオーソ(名人)の至芸をたっぷり。
- ♪ アルゲリッチ／デビュー・リサイタル
マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)(ユニバーサル・ミュージック-UCCG4627)
現在も活躍する名ピアニストが20歳で発表した衝撃的な演奏集。
- ♪ ツィゴイネルワイゼン ～ヴァルトウオーソ・ヴァイオリン
ヤッシャ・ハイフェッツ(ヴァイオリン)(B M Gジャパン-BVCC37686)
ホロヴィッツと並ぶもう一人のヴァルトウオーソの圧倒的な存在感を。
- ♪ サリー・ガーデン
波多野睦美(ソプラノ)(バルドン・レコード-TH4830N)
古楽から近現代作品まで幅広いレパートリーを持つヴォーカリストが歌うイギリスの古い歌。
- ♪ ウェストサイド物語
サウンドトラック(ソニー・ミュージック-MHCP385)
20世紀を代表する音楽家、レナード・バーンスタインの作曲家としての最大の遺産。

no.9 いざクラシックの沃野へ！

さて、ここまでいろいろと書いてきましたが、結局のところはまず聴いてみないと始まらない、ということです。きっかけは案外あっちこっちに転がっているものですから、後はみなさんが一歩踏み出してみるだけです。
 <カリヤノ>や刈谷市総合文化センターでは、これからもさまざまなかたちでクラシックに親しんでいただけるようなきっかけを作っていくよう努めて参りますので、今後ぜひご注目ください。
 そんなきっかけのひとつとして、この秋の「ヴィヴァルディ<四季> 鈴木秀美 オーケストラ・リベラ・クラシカ」の演奏会はいかがでしょうか？



鈴木秀美(チェロ独奏)

刈谷市総合文化センター 開館記念事業

ヴィヴァルディ<四季> 鈴木秀美 オーケストラ・リベラ・クラシカ

世界的なチェロ奏者である鈴木秀美が率いる気鋭の楽団、オーケストラ・リベラ・クラシカが刈谷に登場。名曲中の名曲、ヴィヴァルディの<四季>を、ピリオド楽器(ヴィヴァルディが活躍した時代そのままの楽器やそのレプリカ)の新鮮な響きでおとどけます。

刈谷市総合文化センターアイリス **大ホール**

開演: 16時00分(開場: 15時15分)
 出演: 若松夏美(ヴァイオリン独奏)
 鈴木秀美(チェロ独奏)
 オーケストラ・リベラ・クラシカ
 プログラム: ヴィヴァルディ/合奏協奏曲集<和声と創意への試み>作品8より<四季> ほか
 チケット: 全席指定
 S席5,000円/A席4,000円/B席3,000円/学生券(座席当日指定)2,000円/車椅子席4,000円 **チケット発売中**
 主催・お問合せ: 刈谷市総合文化センター(指定管理者: K C S N共同事業体)
 後援: 刈谷市・刈谷市教育委員会



オーケストラ・リベラ・クラシカ

11/27 (土)

EVENT REPORT イベントレポート

刈谷市総合文化センター開館記念事業

みうらじゅん “BEST OF SLIDE” 7月23日(金) 大ホール

サブカルチャー界の巨人、みうらじゅんが刈谷初登場!と銘打ち企画された“BEST OF SLIDE”。まずは、フロントアクトとしてみうらじゅんが『人間僕宝』に認定している、ウクレレえいじが登場。CX『とんねるずのみなさんのおかげでした』の人気コーナー「博士と助手〜細かすぎて伝わらないモノマネ選手権」第13代チャンピオンで、知る人ぞ知るウクレレ漫談の名医。次々とマニアックなモノマネを繰り出すと客席は大いに盛り上がり、途中スタンディングオベーションをうける一幕があるなど、聴衆を魅了しつつみうらじゅんへとパトタッチ。MJデビュー30周年として、全国各地を飛び回って集めた珍奇な写真やイラストの中からセレクトしたスライドを一挙放出。スクリーンに映し出される厳選されたスライドは、もちろんツッコミどころ満載。

よくもここまで興味深い“モノ”を集められたものだ。と思う一方、世の中に面白い“モノ”が散らばっているのかと思うと、旅に出たときの楽しみが一つ増えるということ。“モノ”と紹介したのは、スライドのネタにしていたのは看板ばかりではないからで、興味のある方はぜひDVDを手にとってほしい。また当日行ったアンケートからは東京、茨城、横浜などから多数のお客さまが来場するなど、みうらじゅんの人を引き付ける魅力が日本全国に浸透していたことを裏付けるものとなった。巧みなトークと脱力スライドで抱腹絶倒の2時間。刈谷“初物”は大好評のうちに終了。あなたも視点を変えると何気なく見ている“モノ”も面白く見えてくるかも?



(撮影:常磐 響)

“アイリス・プロデュース” ドラムラインLIVE「プレ・イベント」 名古屋市立植田中学校吹奏楽部演奏会

8月26日(木) みなくる広場

“アイリス・プロデュース”として、初の試み「プレ・イベント」。ドラムラインLIVE「プレ・イベント」は全国トップクラスの吹奏楽部、名古屋市立植田中学校吹奏楽部の演奏会です。演奏開始前、すでに広場前やウイングデッキに大勢の方が集まっています。演奏が始まると素晴らしい音色に惹かれるかのように通行中の方も次々と足を留めていきます。そして演奏曲全7曲が終わるころにはデッキ場を含め、400名近くの方がお集まりになりました。さて広場での演奏会が終わった後も植田中のみなさんの出番は続きます。今度は総合文化センター大ホールで開催されるドラムラインLIVEに登場です。こちらでは演奏中に会場のお客様からも手拍子が沸き起こるくらいの大盛り上がり! 植田中の皆さん、お疲れさまでした。“アイリス・プロデュース”の方は次なる企画も進行中。次回もご期待ください。



刈谷市総合文化センター開館記念事業 ドラムラインLIVE

8月26日(木) 大ホール

ホール狭しと響き渡る大音量のプラスと、セクシーなダンスパフォーマンスの、まさに「アメリカン」なエンタテインメントが刈谷に登場です。昨年亡くなったKING OF POPことマイケル・ジャクソンを中心に構成されたモータウン系のミュージック、黒人の魂を歌ったゴスペルなどソウルフルにして圧倒的なパフォーマンスで人気の高いドラムラインLIVEの再来日公演が行われました。このステージ、一番の見どころは何と言ってもハーフタイムショーです。ご存知の方も多いでしょうが、アメリカンフットボールが人気のある理由の一つに、ハーフタイムに登場するマーチングバンドのショーがあり、これ目当てに会場に足を運ぶ方も多いのです。

さて、ドラムラインLIVEはこのショーをベースにしていますから、エンタテインメント的なパフォーマンスだけでなく、本物のソウル、ゴスペル、ジャズなどたっぷり楽しめるステージに仕上げられていました。しかも日頃の巨大なスタジアムでのパフォーマンスをホール用に濃縮した大迫力のステージでしたから当日は会場も大いに盛り上がり、刈谷にアメリカが出現したかのような雰囲気!異文化を肌で感じられる極上のエンタテインメント、ドラムラインLIVEの公演で刈谷の熱い夏は終わったのです。



(©/Ayumi Kakamu)

季節講座 レポート

夏の親子向け季節講座、たくさんのご参加ありがとうございました。

・親子で作ろう 風鈴 or ベル 8月9日(月) 陶芸室

暑い夏を涼しくするために陶芸教室では風鈴やベルを作りました。空き瓶に粘土を巻いて形をつくり、模様を書いて、粘土を接着し・・・みなさん思い思いの形の作品が完成!後日、講師とセンタースタッフが陶芸室の窯で二度焼きして仕上げたものを、受講されたみなさんにお渡ししました。



・親子でエコクッキング 8月10日(火) 調理実習室

今話題のキャラ弁作りに挑戦しました。ご飯でトトロを、ハンバーグでまっくろくろすけを作りお弁当箱をデコレーション!途中、使った食材がどこからやってきたのかということ、世界地図で学ぶ「フードマイレージ講座」もあり、おいしくするための時間になりました。最後に時間短縮で作った蒸しパンとクッキーはご家族へのお土産です。おうちでもぜひチャレンジしてみてください。



・「テレビ体験教室」～中継車とキャッチくんがやってくる! 8月27日(金) 小ホール



キャッチくんとキャッチピーちゃん

テレビ番組が出来るまでを学び、実際にアナウンサーやカメラの操作体験、普段乗る機会のない中継車の中を見学出来る講座でした!アナウンサー体験では、実際にカメラの前でニュースの原稿を読みました。緊張していたお子さんも多かったです。現場の空気感を味わえたのではないのでしょうか。中継車見学では、たくさんの画面やボタンにみなさんビックリ!アナウンサー体験をしている他のお子さんの姿に合わせて、映像を流してニュースが出来るまでを学びました。また、カメラ体験では、キャッチのマスコットキャラクターのキャッチくんやキャッチピーちゃんをモデルに撮影。本物の機材に触れるので、子供も大人もドキドキです。普段テレビ画面を通してしか知らない仕事を体験出来るということで、大人の方にも興味を持っていただけたようです。なお、アナウンサー体験の様子を収めたDVDは後日みなさんにお届けしました。



(中継車)



(アナウンサー)



(カメラ)



市民講座 レポート

5月から始まった前期市民講座も9月で終了しました。「カリヤノ」夏号に引き続き、講座の様子をお伝えします。総合文化センターで開催された初の市民講座、みなさん充実した時間を過ごしていただけましたか。

10月からは後期市民講座が開講!どうぞご期待ください。

・パソコン入門 (日曜コース・月曜コース) 水曜コース

講師の先生方の人気は抜群!今後やってみたい講座では多くの方が中級・上級編を希望されており、みなさんの学習意欲の高さに脱帽でした。

5/9~8/16 (各コースで異なる)

全12回



・ママのための食育講座

講座を通して食の見直しができ、ママさん同士の交流の場にもなったようです。実習では、バランスの取れた献立を習得できました。

5/12~7/7

全12回



・ふれてみよう!西洋美術史

西洋美術にふれてみるキッカケづくりには、とても適した講座でした。皆さんも知っている有名作品を、鑑賞の“ものさし”として紹介。美術館や展覧会に行くのが楽しみになる講座でした。

7/28~8/11

全3回

※8/12 別途現地講義 岡崎市美術館



・地球とおさいふにやさしいエコ生活

草木染をはじめ染料を使いオリジナルのエコバッグを染めました。みなさん出来上がりに大満足!楽しくエコを体感でき、環境への意識が高まりました。

7/10~9/11

全8回



Pick Up 今年の秋・冬に **オススメ** するイベントはこちら

ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2010

(KCSN共同事業体：刈谷市総合文化センター指定管理者 協力事業)

10/31
(日)

刈谷市総合文化センター アイリス **大ホール**

開演：15時00分(開場14時00分)
全指定席 S席8,000円/A席6,500円 ※未就学児入場不可(託児サービスあり) **チケット発売中**

日本発のディズニー・エンターテインメント「ディズニー・オン・クラシック」がついに刈谷へ。ディズニーの素敵なメロディーをたっぷり楽しんで！！

ディズニーの珠玉の名曲を、オーケストラとブロードウェイで活躍するヴォーカリストの素敵な演奏にのせてお届けする、大人のための音楽会。大好評につき、10/31に唯一の追加公演がここ「刈谷市総合文化センター」で開催されることになった。今年は「Miracle ～愛が輝く時」をテーマに『美女と野獣』をフィーチャー。その他、『ディズニース・ファンタジー・リビューション!』の楽曲や世界初演、オーケストラの協奏曲『プリンス・オブ・ベルシャ/時間の砂』も登場します。夢と希望にあふれた「まほう夜の音楽会」をお楽しみ下さい。

指揮/編曲：ブラッド・ケリー
ヴォーカル：キャリー・アンダーソン《ベル役》
トニー・クレメンツ《野獣役》他
演奏：東京フィルハーモニー交響楽団
“ネバーランド・オーケストラ”他
演奏予定曲目：『美女と野獣』より「美女と野獣」
「ひとりぼっちの晩餐会」他



『美女と野獣』をフィーチャー！！



映像や光の演出による幻想的なステージ ©Disney



ディズニー・オン・クラシック 2010

A PROJECT OF TAEKO ONUKI & RYUICHI SAKAMOTO

UTAU TOUR 2010

刈谷衣浦ライオンズクラブ CN40周年記念コンサート
(KCSN共同事業体：刈谷市総合文化センター指定管理者 協力事業)

12/7
(火)



刈谷ふれあいカレッジ 市民大学講座

第一期 「共生の時代を生きる」 **第二期** 「歴史の現場から学ぶ」

第1回 11/10(水) 第2回 11/17(水)
第1回 12/4(土) 第2回 12/13(月)



刈谷市総合文化センター アイリス **大ホール**

開演：18時30分(開場18時00分)
各回・全席自由席：第1期・第2期 各1,000円 **チケット発売中**
主催：刈谷市総合文化センター(KCSN共同事業体)

刈谷市総合文化センター アイリス **大ホール**

開演：19時00分(開場18時15分)

全指定席 8,400円 **チケット発売中**

主催：刈谷衣浦ライオンズクラブ

企画・制作：K A B / P R O M A X

協賛：Audi / コクヨ / シーメンス補聴器

協力：commons / YAMAHA / more trees / Ballad / KCSN共同事業体

1970年代前半の出会いから、数多くの共作を経てそれぞれ独自の世界を確立してきた盟友、大貫妙子と坂本龍一。坂本龍一の楽曲に、大貫が言葉をのせ歌うアルバムがこの秋(11月発売予定) commonsよりリリースされます。そして、そのアルバムを携えたツアーの中で刈谷公演の開催が決定しました。
*本公演の各会場で消費される電力はグリーン電力を使用し、ツアー全体で排出されるCO2は想定される排出量の全てをカーボンオフセットする等、可能な限りカーボンフリーなツアーの実施を目指します。
*チケット料金には、日本国民1人あたりが1日に排出するCO2約6Kgのうち1Kgをオフセットする費用が含まれています。カーボンオフセットは、環境保護団体more treesが進める森作りによって実行されます。http://www.more-trees.org
また、ご来場は、出来る限り公共交通機関をご利用いただくなど、ご協力をお願いいたします。

和太鼓ユニット光 (KOH) 「夢爛然」

刈谷市総合文化センター アイリス

大ホール

開演：15時00分(開場14時30分)
主催：刈谷市総合文化センター(KCSN共同事業体)

本公演の見どころ

1999年、羽田康次(刈谷出身)・はだひかるによって結成された「和太鼓ユニット光 (KOH)」は、日本国内のみならず、カナダ、アメリカ、オランダでも演奏活動を行っています。2004年には、知立市に活動拠点を移し、地域と共に活動にも力を入れています。本公演では、スペシャルゲストとして、日本舞踊の若手指導や西川流家元主催のひな菊会指導を行っている西川まさ子、作曲・編曲・演出など多彩な才能を開花させた元「鼓動」の金子竜太郎を迎えたコラボレーションを披露します。また、地元若手・子ども達との共演も予定しており、地元子供たちと光輝ける夢を次世代につなげていく、見どころ満載の公演です。ご期待ください。



→ 情報はP.9 Information をご参照ください。

TIME OUT Track2

今回はこのコラムのタイトル<time out>について。

time out(タイム・アウト)は前号にも書いたとおり、ちょっとした休みや中断を意味する。

因みに、少しでもジャズをかじったことのある人は直ぐにピンと来たはず。そう、ジャズ・ピアニスト、デイヴ・ブルーベックのアルバム<TIME OUT(タイム・アウト)>をパクったな、と。

ご推察のとおりである。

恐らくジャズの名盤、特に入門者向けのガイド本を見るとこのアルバムは大概のものに取り上げられている。何故か。まずは何よりも<Take Five(テイク・ファイヴ)>という、超がつくぐらいに有名な曲が収録されているからだ。中庸なテンポだけれど、リズムカルなバックの動きに乗って、クールさと気取りとが程良く入り交じったサックスのメロディ。そのフレーズを聴けば多くの人が「ああ、アレね」と納得するだろう。1980年代の後半には、ニューヨークのビジネスマンの生活ぶりを描いた栄養ドリンクのCMのバックに使われていたから、それを思い出す人も居るだろう。

<テイク・ファイヴ>。5分間休憩しよう、という意味であると同時に、4分の5拍子で、という意味も持つ言葉だ。5拍子なんていうのは、フツー私たちが耳にする音楽としてはあまり使われない拍子だと思って良い。お堅く言えば変拍子と言う。しかし<テイク・ファイヴ>は上述したサックス(アルト)のメロディが流麗に進んでいくから「ヘンな拍子」だとは、パツと聴きでは感じないはずだ。

<テイク・ファイヴ>は有名曲だから、さまざまなコンピレーション・アルバムに収録されている。じゃあ、そういうのを買っときゃいいかというと、個人的にはそうではないと思う。何故ならアルバムに収録されている7曲全てがアイ曲なので。<テイク・ファイヴ>以外に挙げるとすれば冒頭に置かれた<Blue Rondo a la Turk(トルコ風ブルー・ロンド)>だ。

こちらは頭から心地よく快速なテンポで飛ばしていく。因みに9拍子。9の内訳は3×3ではなくて、2+2+2+3という変則的なもの。

<テイク・ファイヴ>と<ブルー・ロンド～>がウケて、<タイム・アウト>は全米で大ヒットした。1959年のことである。もともと知名度の高かったブルーベックのグループは、このヒットで更に人気を集めることとなる。

それで調子にノッた訳ではないのだろうが、彼はその後も変拍子ジャズ作品のアルバムを作った。<TIME FURTHER OUT(タイム・ファーザー・アウト)>やら<TIME CHANGES(タイム・チェンジズ)>などなど。そして今年(2010年)、このあたりの変拍子アルバムがボックス・セットにまとめられたので、ご興味のある方はそちらをぜひ。

余談。
変拍子ジャズをもっと!という奇特な方には、ドン・エリス(トランペッター/ビッグバンド・リーダー)を強くオススメしておこう。(若林)



デイヴ・ブルーベック<タイム・アウト> SICP2257~9(レガシー・エディション)

「さ・え・ら」

このコーナーでは総合文化センター内のいろいろな場所、即ち「さ・え・ら」をご紹介します。

その2・トイレのはなし

今回はトイレのおはなしを。
トイレはどちらかというと地味な設備ではありますが、実はホール的には重要な設備なのです。それは特に女性のお客様はよくお分かりいただけると思います。

さて、大ホール内の女子トイレは約40の個室があります。ホールの利用人数を考えた、余裕ある数となっていますが、人気の催しもの休憩時間などどうしても混雑してしまいます。そのため、トイレ内にはお客様にスムーズにご利用していただけるよう様々な工夫が施されています。

まず、入っていくお客様と出て行くお客様がぶつかることなく出入りできるよう、トイレ内は一方通行になっています。明るいパウダールームを抜けてロビー、客席へお戻りください。

もう一つは、個室の使用表示のパネルです。個室の扉上部には、「洋式」「和式」の表示がありますが、ご使用時には写真のとおり扉に沿って見えなくなります。ちょっとした「仕掛け」ではありますが、並んでいても奥の方まで空き状況が分かるので便利です。

その他、センター内のトイレには、視覚障害者の方へのサポートとして、出入り口の場所を音で知らせる案内設備もあります。また、多目的トイレは、お子様連れや車いすをご利用の方でも安心な広めのスペースを確保した上で、非常通報設備などの設備を設置しています。

休憩時間も安心で快適な時間を過ごしていただきたい、トイレにもそんな想いがこめられています。



チケット情報 総合文化センターでチケット取扱い中の公演（9月25日現在）

● 井上陽水 Tour 2010 Powder

会場：大ホール
公演日時：10月20日（水）18時30分開演
全席指定（8,400円） **完売**

● ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2010
（KCSN 共同事業体 協力事業） **P.7 参照**

会場：大ホール
公演日時：10月31日（日）15時00分開演
S席（8,000円） A席（6,500円）

● A PROJECT OF TAEKO ONUKI & RYUICHI SAKAMOTO
UTAU TOUR 2010（大貫妙子&坂本龍一） **P.7 参照**

会場：大ホール
公演日時：12月7日（火）19時00分開演
全席指定（8,400円）

● 和太鼓ユニット光 夢欄然 **P.7 参照**

会場：大ホール
公演日時：2011年1月16日（日）15時00分開演
S席（3,000円） A席（2,500円）
B席（1,000円）（当日：各席500円増）

これらのチケット発売情報

● 田村響 ピアノ・リサイタル

会場：大ホール
公演日時：2011年2月19日（日） チケット料金未定
発売日：11月中旬予定

● 大平貴之 & 佐田玲子 Planetarium Live

会場：大ホール
公演日時：10月24日（日）18時00分開演
全席指定（1,500円）

● ヴィヴァルディ＜四季＞
鈴木秀美 オーケストラ・リベラ・クラシカ **P.4 参照**

会場：大ホール
公演日時：11月27日（土）16時00分開演
S席（5,000円） A席（4,000円）
B席（3,000円）
学生（2,000円 座席当日指定）

● 刈谷ふれあいカレッジ 市民大学講座 **P.7 参照**

会場：大ホール
開催日時：第一期 第1回11月10日（水）
第2回11月17日（水）
第二期 第1回12月4日（土）
第2回12月13日（月）各期18時30分開演
各期：全席自由席（1,000円）

※残席の状況はお問い合わせください。

※車いす席と親子室席、託児サービス の取扱いについては公演ごとに異なりますので、予め総合文化センターまでお問い合わせください。

☎：0566-21-7430

＜ネット会員募集のご案内＞

● 刈谷市総合文化センター ネット会員募集中 ●

刈谷市総合文化センターでは、ネット会員を募集中です。より多くの方に当センターを知っていただき、活用していただくためにパソコン・携帯電話へ、イベント情報や市民講座のご案内をお届けいたします。イベントチケットのネット申込みなど、会員の方への特典もご用意いたしました。皆様のご入会を心よりお待ちしております。
PCサイトはこちら → <http://www.kariya.hall-info.jp/pc/ticket/index.html>

● 会員特典

● 無料で会員登録！
パソコン・携帯電話で、刈谷市総合文化センターホームページから登録が可能です。
入会金・年会費は無料です。

● 最新イベント情報をお届け！
メールマガジンにて、刈谷市総合文化センターでのイベント情報をお知らせします。

● ホームページからチケット申込み！
登録後は、刈谷市総合文化センターホームページからインターネットでイベントチケットの申込みができます。
※携帯電話からはお座席やブロックの指定はできませんのでご注意ください。

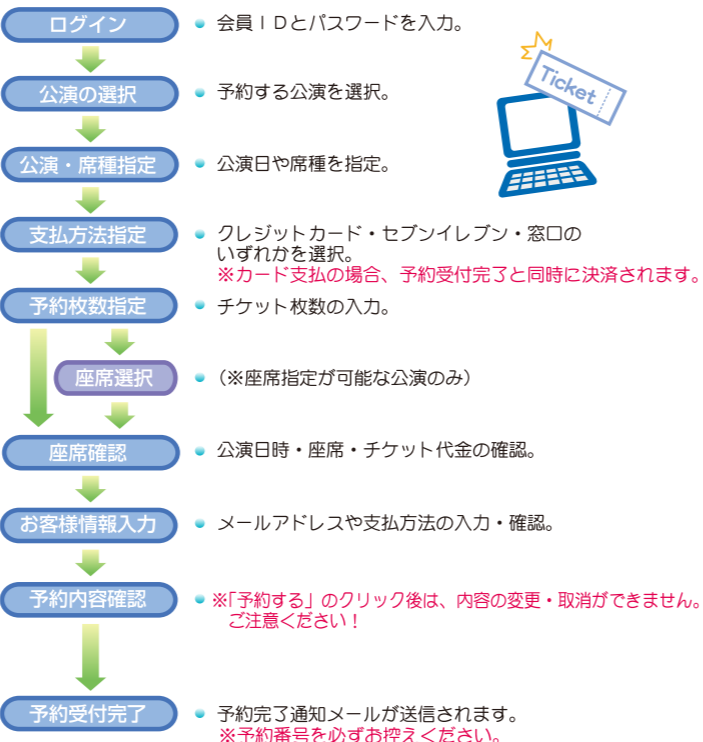
● 入会方法

◆ 刈谷市総合文化センターホームページ、またはセンター窓口にてお申込みください。
◆ 受付完了後、通知メールを送信いたします。

通知メールには、お客様の氏名・会員IDが記載されています。ご登録いただいたパスワードと会員IDは、会員ページの閲覧やチケットの購入に必要となりますので、大切に保管してください。

※個人情報の取り扱いについて お申込みの際にご記入いただきました個人情報は、会員管理および会員サービスの実施に必要な情報の確認、ご案内以外に利用することはありません。また、ご本人の許可なく第三者に情報を開示することはありません。

インターネット
＜チケット申込みのご案内＞



※公演によっては、座席指定ができない場合もございます。各公演内容をご確認のうえお申込みください。

＜施設利用申込みについて＞

開館時間

- 受付時間 9時～22時
- 休館日 毎月第1月曜（祝日の場合は翌日）
年末年始（12月29日～1月3日）
施設・設備の保守点検等で臨時休館する場合があります。

利用申込み方法

● 市民ホール、展示ギャラリー
センター窓口にて受付いたします。
受付開始：利用日の12か月前の月の1日～利用日の20日前まで
※受付初日には「抽選受付」を行います。

● 中央生涯学習センター
センター窓口または予約案内システムにて受付いたします。
窓口での随時予約と、予約案内システムを利用した随時予約・抽選予約があります。
受付開始：（随時）利用日の3か月前の月の1日～利用日の前日まで
（抽選）利用日の4か月前の月の10日～19日

● 予約案内システムについて
施設をご予約の際には、事前に利用者登録が必要となります。詳しくは「予約案内システム利用者ガイドブック」または刈谷市のホームページをご覧ください。

Q & A

Q. 利用可能な時間区分はどのようになっていますか？

A. 以下の表をご参照ください。

【刈谷市民ホール】	【中央生涯学習センター】
午前：9時～12時	午前：9時～12時
午後：13時～17時	午後1：12時～15時
夜間：18時～22時	午後2：15時～18時
全日：9時～22時	夜間：18時～22時
	全日：9時～22時

Q. 電話での予約はできますか？

A. 電話での予約受付は行っておりません。予約案内システムをご利用いただくか、直接窓口までお越しください。

Q. マイク等貸出設備はありますか？

A. マイク・プロジェクター・ピアノなど、貸出附属設備をご用意しております。数に限りがある設備については、先着でご予約を承ります。詳細は、センターまでお問合せください。

総合文化センターホームページ 駐車場へのアクセス方法を掲載しました

総合文化センターへお越しのお客様から、しばしば「駐車場の位置と入り口が分かりにくい…」とご指摘をいただいていた。そこで総合文化センターホームページ上に駐車場までのアクセス方法を写真付きで掲載しました。ご覧頂くには、
1) 「トップページ」の左のメニューから「アクセス」をクリック。（図1）
2) 「アクセス」のページ内（図2）にある「駐車場について」の中の「> 駐車場へのアクセス方法について」をクリックすると、アクセス方法を記載したページをご覧いただけます。（<http://www.kariya.hall-info.jp/pc/access/parking/index.html>）
最初に現れる地図のページ（図3）の中の①～⑥までの番号をクリックすると、それぞれの経路から見える駐車場の写真（図4）をご覧いただけます。合わせて入庫の際の注意点なども記載しておりますので、当センターへお車で越しの際は事前に一度ご確認ください。



＜刈谷市総合文化センター 駐車場のご案内＞

- 利用時間 入庫：8時30分から22時まで
出庫：24時間可能
- 収容台数 610台
- 制限 車高：2.1メートル以下
車長：5メートル以下
※バイク、自転車は入庫できません。
（専用駐輪場をご利用下さい。）
- 料金

区分	料金
大ホール・小ホールをご利用の場合 （入場券・整理券等で、入庫する方が特定できる場合）	4時間まで無料
研修室・講座室等をご利用の場合	
上記以外の場合 （不特定多数の方が入庫可能な催事、当センター内のレストラン利用、施設の予約申込み等）	1時間まで無料
無料時間を除き5時間以内の場合	30分まで毎150円
無料時間を除き5時間超の場合	24時間まで1,500円

● ご利用についての注意事項

- ホールをご利用の場合は、ホワイエに備付けの認証機に駐車整理券を通して認証を受けてください。
- 研修室等のホール以外の施設をご利用の場合は、代表の方が一括して駐車整理券を取りまとめ、センター窓口までお持ちください。取りまとめの際には、駐車整理券に記名するなどして、どなたのものが特定できるようにご配慮ください。
- 同じ日に当センターの複数の施設を利用される場合でも、無料となるのは入庫から4時間以内の料金のみです。
- 駐車場内における災害、事故、盗難等による損害については責任を負いません。
- 危険物、引火物の持込みはご遠慮ください。
- 隣接している「みなくる刈谷（パロー）」の駐車場に入庫されますと、上記の料金が適用されませんのでご注意ください。